

## プレス発表のお知らせ

報道機関 各位

株式会社 サイバー・ソリューションズ  
代表取締役社長 キニ グレン マンスフィールド

### 世界最先端の「不正端末の検知・特定・遮断」技術を確立 国内初のIPv6への対応と不正端末を確実に遮断する多角的遮断技術

#### <概要>

不正端末の検知と遮断の技術でイントラネットセキュリティ技術をリードする株式会社サイバー・ソリューションズは、今後急速な普及が予想される**次世代インターネット技術IPv6に対応した世界最先端の不正端末の検知・特定・遮断技術**を開発した。企業、大学、家庭、さらにはCATVなどのインターネットサービスプロバイダにも適用できる**確実に汎用的な技術**を開発し、あらゆるネットワークで端末接続を管理できる技術を世界に先駆けて実現した。

長年にわたってネットワーク管理技術の研究開発とそれらの標準化に取り組んできた株式会社サイバー・ソリューションズは、その技術力を基盤としてイントラネットへの端末接続を管理する製品を開発し市場をリードしてきた。今回、それらの技術を**国内で初めてIPv6に対応させることに成功**し、さらに**世界に先駆けて米国で取得した特許技術**を活用することで、多角的であらゆるネットワークで利用できる端末接続管理技術を実現した。

本技術を実装したイントラネットセキュリティ管理製品NetSkateKobanは既存のあらゆるネットワークで**さらに確実な端末接続管理**を実現するとともに、これから普及する**次世代ネットワークに適用できる国内初の製品**となる。

東北大学、株式会社インテリジェント・コスモス研究機構等とともに、仙台地域での産学官連携による研究開発を積極的に推進してきた株式会社サイバー・ソリューションズは、本技術によって確立した**隙のない不正端末検知、特定、遮断技術**によって既存のイントラネットセキュリティ市場でのリードを広げるとともに、次世代ネットワークでも市場をリードすることを目指す。また東北地域の企業、大学のみならず他の地域との連携を強化することで、新たな市場開拓を目指す。

#### 東北大学教授 東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHe)副センター長 総長特命主幹(地域連携総括) 長谷川史彦 先生のコメント:

本技術は、独立行政法人情報通信研究機構(NICT)での研究成果の一部であり、NICHeがコーディネートした地域産学連携活動から、次世代の通信プロトコルに関する先進技術の研究成果が製品として発信されることは大変喜ばしいことである。

- (1) 日時 : 平成22年10月28日(木) 午前11時00分より
- (2) 場所 : 仙台市青葉区南吉成6-6-3ICRビル2F会議室  
株式会社サイバー・ソリューションズ
- (3) 出席者 : キニ グレン マンスフィールド 代表取締役社長((株)サイバー・ソリューションズ)
- (4) 発表形式 : 配布資料とプロジェクターによる説明およびデモ
- (5) 問い合わせ : 株式会社サイバー・ソリューションズ (太田耕平: 022-303-4012)

IPv6: 来年(2011年)6月にも枯渇するといわれている現在のIPv4にかわる次世代ネットワーク技術、早急な移行が課題となっているが、その運用面での取組みは十分ではなく本技術はIPv6に対応する国内初の実用的な不正端末検知・特定・遮断システムとなる

本システムは、情報処理振興事業協会(IPA/現:独立行政法人情報処理推進機構)重点領域情報技術開発事業の成果をもとに製品化されている。また独立行政法人情報通信研究機構 民間基盤技術研究促進制度の成果、文部科学省の仙台地域知的クラスター創成事業の成果、および独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構産業技術実用化開発助成事業の成果が活用されている。